

第二次十日町市総合計画
前期基本計画

平成 28 年度 達成度報告書

(内部評価)

十日町市

(総務部 企画政策課)

第二次十日町市総合計画 前期基本計画

平成 28 年度 達成度報告 目次

1	「達成度報告」の作成趣旨	・・・・・・・・P 1
2	まちづくりの目標値の達成状況	
	(1) 施策別	
	基本方針 1 人にやさしいまちづくり	・・・・・・・・P 2
	基本方針 2 活力ある元気なまちづくり	・・・・・・・・P 6
	基本方針 3 安全・安心なまちづくり	・・・・・・・・P 12
	基本方針 4 まちづくりの推進に向けて	・・・・・・・・P 17
	(2) 未来戦略別	・・・・・・・・P 20
	(3) 行政改革項目別	
	①市民との協働・情報共有	・・・・・・・・P 22
	②行政運営の効率化	・・・・・・・・P 23
	③財政運営の適正化	・・・・・・・・P 24

1 「達成度報告」作成の趣旨

当市は、28年度を始期とする第二次総合計画前期基本計画を策定し、目指すまちの姿である「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」を達成するため、53の施策を設けるとともに施策の達成状況を確認するため118の「まちづくりの目標値」を設定し、点検検証による政策施策の達成と事務事業の更なる水準向上を目指している。

この達成度報告は、計画内のまちづくり目標値の「達成率」を毎年測定し、PDCAサイクルの中の点検検証（Check）に客観性と具体性を持たせることにより、計画の進捗状況を市民と共有するためのものである。

～ 各種割合の算出方法と区分表示について ～

「まちづくりの目標値」を達成するための目安として、各年度における達成目安を設定し、目安に基づく当該年度の達成率により、評価検証を行っている。

①達成率の算出方法

$$\text{達成率 (\%)} = (\text{達成状況} - \text{基準値}) / (\text{当該年度達成目安} - \text{基準値})$$

(少数点以下第2位を四捨五入し、同1位まで表示。以下同じ。)

②評価検証の区分表示（凡例）

区分	内容
◎	【前倒し】：年度達成目安に対し、大幅に進んでいる。
○	【順調】：年度達成目安を達成した。
△	【遅れ】：年度達成目安に対し、遅れている。
—	【計測不能】：統計調査の実施時期等により計測不能。

2 まちづくりの目標値の達成状況

(次頁より、施策別・未来戦略別・行政改革項目別)

基本方針1 人にやさしいまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名		まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 1	保育・幼児 教育の充実	待機児童数 (単位：人)	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園改築事業 私立保育園施設整備支援事業 特別保育助成事業 認定こども園運営事業 	0	0	0	0	達成	達成	平成28年度は、保育士の適正配置に取り組み、待機児童を発生させなかった。	○	保育士の適正配置等により、目標値である待機児童数0人を達成している。引き続き、待機児童が発生しないよう取り組んでいく。		
		保育園の民営化数（延べ） (単位：園)	<ul style="list-style-type: none"> 十日町市公立保育園民営化事業 	1	0	4	0	—	0.0%	平成28年度は、地域や保護者への説明、受託法人の選定を行い、H30年度の2園民営化への準備を行った。	○	H30年度の2園民営化へ向けて、域や保護者への説明、受託法人の選定を行い、順調に準備が進んだ。引き続き、民営化に向けて準備を進めていく。	●	
施策 2	子育て支援 の充実	出生数 (単位：人/年)	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て応援カード事業 地域子育て支援センター事業 ブックスタート事業 放課後児童健全育成事業 子ども医療費助成事業 不妊治療費助成事業 妊産婦医療費助成事業 産後ケア事業 	—	380 (H28)	380 (H28~32平均)	346 (H28)	91.1%	91.1%	<p>母子の健康保持や子育てに関する精神的、経済的な負担軽減のために、不妊治療費助成事業の拡大と共に新規に産後ケア事業（4月開始）、妊産婦医療費助成（7月開始）を実施した。</p> <p>地域子育て応援カード事業は、引き続き、周知等を行い利用者が増加した。</p> <p>ブックスタート事業は、10か月児及び1歳6か月児検診受診者への絵本の配布と10か月児検診受診者への絵本の読み聞かせを行った。</p> <p>放課後児童健全育成事業は、保護者の労働等により昼間家庭に保護者のいない児童に対し、授業の終了後適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図るとともに新たな受入れ先の整備に取り組み、延べ43,789人の児童の利用があった。</p> <p>子ども医療費助成事業は、子どもの医療費（保険診療分）について、一部負担金を超えた額を保護者に助成し、経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見・早期治療の促進に取り組み、延べ71,042件の利用があった。</p>	△	<p>目標値を下回っている。</p> <p>引き続き、不妊治療費助成事業や子供医療費助成事業などの助成事業により経済的負担の軽減を図るとともに、地域子育て応援カード事業や放課後児童健全育成事業などの子育て支援を実施し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に取り組む。また、全庁的に少子化対策に取り組む。</p> <p>参考（出生数） H26：381人 H27：349人</p>		
		4か月児健康診査受診率 (単位：%)	<ul style="list-style-type: none"> 新生児・妊産婦訪問指導事業 	96.5	96.8	98.0	98.0	500.0%	100.0%	各種健診を毎月実施し、対象月に欠席しても翌月に受診できる。未受診者には、電話や郵便で次回健診を案内している。	○	目標値を達成している。引き続き、受診率がキープできるよう未受診者のフォローを確実に実施していく。		
		1歳6か月児健康診査受診率 (単位：%)	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健相談指導事業 母子健康診査委託事業 	97.9	98.0	98.0	100.0	2100.0%	2100.0%					
		3歳6か月児健康診査受診率 (単位：%)	<ul style="list-style-type: none"> 乳児健康診査事業 幼児健康診査事業 	97.2	97.4	98.0	99.5	1150.0%	287.5%					

基本方針 1 人にやさしいまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の実績状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 3	子育て環境の充実	ファミリーサポートセンターの登録者数（依頼・提供・両方の計）（単位：人）	209	213	230	216	175.0%	33.3%	平成28年度は、養成講習会や会員交流会などのイベント等に取り組み、依頼者登録17名、提供者登録数3名が増加した。	○	平成28年度の目標値を達成した。引き続き、イベントや周知等を行い、会員数の増加を図る。		
	子育て支援センター利用者数（単位：人/年）	・地域子育て支援センター運営事業	23,645	24,516	28,000	27,390	430.0%	86.0%	平成28年度は、双子のつどい、ベビーマッサージなどの各イベントに取り組み、利用者数が増加した。	◎	双子のつどい、ベビーマッサージなどの各イベントに取り組み、各センターともに利用者が増加し、平成28年度の目標値を達成した。引き続き利用者数の増加を図る。		
施策 4	学校教育の充実	全国学力標準検査（NRT）で全学年・全教科の児童生徒の平均偏差値	小学校 52.9	小学校 53.0	小学校 53.0	小学校 53.0	小学校 100.0%	小学校 100.0%	・学力調査の分析に基づき実態把握と各校並びに中学校区の学力向上対策の推進。 ・若手教員サポート事業や各種研修による教職員の指導力向上。 ・寺子屋事業等による学びの場の提供。	◎	目標値を達成している。引き続き、学力実態を分析し、これまでの取り組みを改善しながら、全国平均以上の児童の学力を維持していく。		
		不登校である児童生徒の割合（単位：%）	小学校 0.52	小学校 0.48	小学校 0.30	小学校 0.23	小学校 725.0%	小学校 131.8%	・小中一貫教育のよさを生かした中1ギャップ解消に向けた小中連携の取組の推進。 ・年3回不登校対策研修会の推進。 ・相談支援体制の充実。	△	小学校では、改善され、目標値を上回ったものの、中学校に至っては目標2.6%に対し、4.86%と依然高い発生率となっている。学校訪問指導や研修会、相談支援体制の強化などを行い、改善を図る。		
	英語を話せるようになりたいと思う児童生徒の割合（単位：%） （小学校5・6年生と中学校全学年を対象に行う「外国語活動・英語アンケート」より）	・英語教育推進事業	小学校 92.4	小学校 93.3	小学校 97.0	小学校 -	小学校 -	小学校 -	・英語教育推進事業（Kids英語遊び塾、イングリッシュキャンプ、英語ボランティアガイド養成講座、E+タイム等）の実施。 ・英語科授業力養成講座等による英語科教員の指導力向上。	一	平成28年度は、アンケート未実施であった。英語教育推進事業の実施や英語科授業力養成講座等による英語科教員の指導力向上を図り、引き続き、児童・生徒の英語力の向上を図る。		
		小学校 84.1	中学校 85.3	中学校 90.0	中学校 -	中学校 -	中学校 -						
		・ふるさと信濃川教室 ・ふるさと学習推進事業（ふるさと学習、妻有焼体験学習、和装教育等）	小学3~6年生 96.8	小学3~6年生 96.8	小学3~6年生 96.8	小学3~6年生 94.8	小学3~6年生 未達成	小学3~6年生 未達成	ふるさとでの自然や文化等を活用した学習活動を通じて、郷土愛の醸成に取り組んだ。	△	目標値は下回ったものの、高い数値となっている。引き続き、ふるさとでの自然や文化等を活用した学習活動を実施するほか、市内小5~中3の児童生徒全員に地域の魅力などを学ぶための「ふるさと教材」を配布し、郷土愛の醸成に取り組む。		
		学校給食における地元農産物（対象：野菜・キノコ）使用割合（単位：%）	・学校給食地産地消推進事業	41.7	44.4	55.0	37.0	-174.1%	-35.3%	各調理現場で積極的に地元農産物を取り入れるよう取組み、使用割合の高い施設の取組み状況について情報共有を図った。	△	天候の影響もあり、地元農産物の十分な量の確保が出来ず、平成28年度の目標値を下回った。目標達成に向けて、最盛期の農産物の活用、冬期間の農産物の確保に取り組む。	

基本方針 1 人にやさしいまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 6	学校教育施 設の整備	・小学校施設整備事業 ・中学校施設整備事業 トイレの改修率（学校数） （単位：％）	43.3	46.7	80.0	46.7	100.0%	9.3%	小学校1校のトイレ改修を実施した。 小中学校のトイレ全体計画の精査を実施した。	○	年度達成目安を達成した。施工内容の精査を図り、より事業費の縮減に努め、目標達成を図る。		
		・学校用備品整備事業 新JIS規格の机・いす整備率（単位：％）	11.8	40.7	85.0	40.7	100.0%	39.5%	小学校4校/中学校4校を整備。	○	年度目標を達成した。 引き続き、計画に基づき整備を行う。 【整備予定学校数】 H29：小学校2校/中学校3校 H30：小学校1校/中学校2校 H31：小学校4校/中学校2校 H32：小学校1校		
		・コンピュータ関係機器の整備 タブレット端末の導入校数 ※1台4人（単位：学校数）	0	0	19	0	0.0%	0.0%	時代に合った教育環境を構築するため、タブレット端末を活用した授業の取り組みについて、試用状況を研究しながら整備を進める。 H28年度 42台購入 今後は、全小学校児童数に対して4人に1台を各学校に整備する。（1クラス全員がタブレットを使用可）	—	平成29年度より、順次整備する。 小学校：H29年10校、H31年9校		
施策 7	高等教育な どの推進	・医療福祉総合センター整備事業 高等教育機関の誘致数 （単位：校）	—	0	1	0	0.0%	0.0%	県立看護専門学校への誘致に向け、県知事へ平成26年8月に要望書を提出。また、整備予定地取得に向け、関係機関との協議。	○	県立看護専門学校の開校に向けて、関係機関と順調に協議が進んでいる。		
施策 8	福祉のまち づくりの推 進	・自立相談支援事業 ・生活保護受給者等就労自立促進事業 生活困窮者等の新規就労者数 （単位：人/年）	21	25 (H28)	25 (H28~32平均)	18 (H28)	-75.0%	-75.0%	就労支援員が中心となって支援する被保護者就労支援事業により7名就労に結びついた。	△	目標値を下回った。引き続き、生活保護者等就労自立促進事業等を活用し新規就労者増を目指す。		
		— シルバー人材センターの登録者数（単位：人）	987	1,010	1,100	1,155	730.4%	148.7%	シルバー人材センターへ補助的短期的な就業を通じ高齢者の能力を活かし活力ある地域社会づくりを目的に助成している。	◎	目標値を大幅に達成した。引き続き、シルバー人材センターへの助成を実施し、登録者数の維持・増加を図る。		
施策 9	高齢者福祉 の充実	・介護予防事業 新規介護認定者数 （単位：人/年）	1,076	938	980	821	184.8%	265.6%	運動教室などの実施に加え、平成28年度から地域包括支援センターによる出前講座などでも積極的に介護予防の推進を図った。	◎	目標値よりも新規介護認定者数が減少し、目標を大幅に達成した。引き続き、介護予防の推進を図る。		●
		— 小規模多機能型居宅介護事業所数（延べ）（単位：事業所数）	1	3	7	3	100.0%	33.3%	第6期介護保険事業計画に基づき、川西地域1事業所、中里地域1事業所を整備。	○	年度達成目安を達成した。引き続き、整備を推進し、目標値の達成を目指す。		
		— サービス付き高齢者住宅数 （延べ）（単位：棟）	1	3	5	3	100.0%	50.0%	十日町地域1棟（介護サービス付き）、中里地域1棟が整備された。	○	年度達成目安を達成した。引き続き、整備を推進し、目標値の達成を目指す。		

基本方針1 人にやさしいまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の実績状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 10	障がい者福祉の充実	福祉事業所就労における平均月額賃金 就労継続支援A型	—	58,000	72,000	54,901	94.7%	76.3%	就労継続支援B型事業所の利用希望者が多く、各事業所の定員になるまでは、短時間労働でも利用できるようにしていた。 1棟完成、1棟建設中（平成29年4月1日完成予定）	△	A型が年度達成目安を下回っている。引き続き、利用者が安定して作業ができる環境を整備し、事業所収益増による平均月額賃金の増額を目指す。		
		就労継続支援B型 (単位：円/月)	14,288	14,803	16,860	15,643	263.1%	52.7%					
		グループホームの利用者数 (単位：人)	98	113	170	137	260.0%	54.2%					
		グループホームの棟数（延べ）	16	18	29	22	300.0%	46.2%					
施策 11	人権尊重の推進	市民の人権への関心度 (単位：%)	60.8	61.6	65.0	61.6	100.0%	19.0%	人権講演会の実施。市内小中学校に人権冊子配布。田沢小学校で人権擁護委員による特別授業の実施	○	平成28年度の目標値を達成した。引き続き、人権擁護委員協議会と連携した普及啓発事業に取り組む。		
施策 12	女性が活躍しやすい社会の実現	審議会等の女性委員の割合 (単位：%)	23.2	25.6	35.0	22.7	-20.8%	-4.2%	女性登用率を上げるよう呼びかけを行ったが、登用率が下がった審議会があり、目標に至らなかった。	△	登用率が基準年に比べて低下した。第3次男女共同参画基本計画にも盛り込み、委員改選間近に女性の登用を増やすよう各課へ働きかけ、達成率向上を目指していく。		●
		ハッピー・パートナー企業 (新潟県男女共同参画推進企業) 登録数 (単位：社)	27	30	50	31	133.3%	17.4%	関連法令の改正があったことから、就業規則について法令改正後の内容に対応した企業から順次登録していただいた。	○	登録企業は順調に増えている。引き続き、企業・団体に働き掛けを行う。		

基本方針名	評価区分			
	◎	○	△	—
人にやさしいまちづくり	◎	○	△	—
施策数 計：12/まちづくりの目標値数 計：25	5	11	7	2
構成割合	64%		28%	8%

基本方針2 活力ある元気なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略	
施策 13	地域資源を 活用した観 光の推進	観光協会ホームページアク セス件数(単位:件/年)	—	370,780	396,624	500,000	357,019	-53.2%	-10.6%	平成27年度より日・英FBを開設した。平成28年 度は、イベント情報の提供や観光スポットの近況 等を流す頻度を上げた。	△	スマートフォンでのWeb検索が増加する 中、最新の情報が協会のフェイスブックの 投稿で得られることもあり、HPへのアク セス数の減少が見られた。引き続き、外国 語ページの更なる拡充、市内宿泊施設の空 室状況の提供を行う。		
		名所・景勝地の入込数 (単位:人/年)	—	167,043	175,634	210,000	171,916	56.7%	11.3%	・国内での商談会などでのPR ・観光キャラバンの実施	△	年度目標には達しなかったが、増加傾向に ある。引き続き、国内での商談会などでの PRや観光キャラバンの実施などにより入込 数の増加を図る。		
		温泉地の入込数 (単位:人/年)	—	903,502	904,802	910,000	840,527	-4844.2%	-969.1%	・湯めぐりキャンペーンの実施 ・民間温泉施設の廃業。(H26:7,000人)	△	民間温泉施設の廃業等の影響もあり、年度 目標が未達成となった。引き続き、湯めぐ りキャンペーンの実施などにより入込数の 増加を図る。		
施策 14	大地の芸術 祭の里ブラン ドの推進	大地の芸術祭拠点施設の入 込数(単位:人/年)	・大地の芸術祭運営事業 ・ブランド化推進事業 ・キナーレ、里山文化交流施設 誘客促進事業	71,645	73,500 (H28)	80,000 (H28~32平均)	88,422 (H28)	904.4%	200.8%	「大地の芸術祭の里」としてのブランドイメージ を確立し、通年での観光誘客を図るため、春夏秋 冬で四季のプログラムを開催して拠点施設の入込 客数増加に取り組んだ。	◎	「大地の芸術祭の里 四季のプログラム」 が功を奏し、目標値を上回った。引き続 き、平成28年度の入込客数を維持・増加さ せる。		
施策 15	インバウン ド観光の推 進	外国人宿泊人数 (単位:人泊/年)	・豪雪体験インバウンド事業	1,000	2,400	8,000	2,555	111.1%	22.2%	・国内外の商談会に参加し市の観光PRを実施 ・海外メディア、エージェン特向けの招聘ツアー を実施 ・各パンフレット多言語版を作成 ・外国人観光客誘客のための各種補助金の実施 ・大蔵寺高原キャンプ場の改修	○	年度目標を達成した。引き続き、国内外の 商談会に参加し市の観光PRを実施と海外 メディア、エージェン特向けの招聘ツアー を実施する。		
施策 16	交流ネット ワークの推 進	越後田舎体験の入込数 (単位:人/年)	・越後田舎体験事業	2,612	2,690	3,000	2,773	206.4%	41.5%	33団体(3小学校、24中学校、1特支学校、1 高校、1企業、3海外)	◎	年度目標を達成した。引き続き、継続校へ のアプローチを行うとともに、周辺旅行代 理店への営業による受入増加を図る。		

基本方針2 活力ある元気なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策17 中心市街地の活性化	中心市街地人口の社会動態 (単位：人)	・まちなか住み替え促進事業 ・克雪すまいづくり推進事業 ・まちなか居住促進事業	-91	1	1 (H28~32合計)	14	114.1%	114.1%	克雪すまいづくり支援事業を活用したことによる中心市街地の人口増が図られた。 ※克雪すまいづくり支援事業の実績：8件	◎	社会動向がプラスとなり、年度目標を達成した。引き続き、克雪すまいづくり支援事業の利用促進などにより、目標値の達成を図る。		
	歩行者・自転車通行量（平日） (単位：人/日)	・中心市街地にぎわいカアップ事業	4,668	5,015	6,400	4,088	-167.1%	-33.5%	NPO法人にぎわいが主体となり、キャパシティアップフェスティバルや高校生青春フェスタなどの市民活動が行われた。	△	スバルの閉店もあり、目標値を下回った。市民交流センターや市民活動センターを利用した活動の推進及び越後妻有文化ホール・中央公民館のオープンにより、歩行者・自転車通行量の増加を図る。		
	文化・活動施設の利用者数及び屋外活動者数 (単位：人/年)	・まちなかステージ運営事業 ・中心市街地活性化市民活動等支援事業	117,960	123,968	148,000	172,971	915.6%	183.1%	市民交流センター「分じろう」、市民活動センター「十じろう」がオープンし、様々なイベント等の活動により施設利用者の増加に繋がった。	◎	市民交流センター「分じろう」、市民活動センター「十じろう」がオープンし、様々なイベント等の活動により施設利用数が増加し、目標値を大幅に上回った。引き続き、「アップルとおかまち」や「いこて」などとの各施設間の連携を図ることにより、施設利用者及び屋外活動者の増加を図る。		
施策18 担い手の育成・確保	認定農業者数 (単位：人)	・中山間地域振興対策事業 ・担い手農業経営支援事業	336	389	600	505	318.9%	64.0%	会議等イベントでの周知等により新規認定者数50名を確保した。	◎	会議等イベントにおいて制度の周知を図ることにより、年度目標値を大幅に上回った。引き続き、新規認定者数を増やすため、相談会等を実施する。		
	認定農業者に農地集積された面積 (単位：%)	・農地面的集積促進事業 ・農地中間管理事業	31.7	37.4	60.0	42.1	182.5%	36.7%	認定農業者の増加と農地中間管理機構の活用により、集積面積が増加した。	◎	認定農業者数の増加及び農地中間管理機構の活用により、集積面積が増加し、年度目標値を大幅に上回った。引き続き、目標達成に向けて各事業を活用していく。		
	新規就農者数 (単位：人/年)	・青年就農給付金事業 ・青年就農準備金事業 ・農業生産法人基盤強化事業	8.6	14.0 (H28)	14.0 (H28~32平均)	13.0 (H28)	81.5%	81.5%	首都圏等での就農イベントで周知を図るとともに関係機関と連携して随時、就農相談を行った。	○	年度目標には達しなかったが、新規就農者は増加傾向にある。引き続き、首都圏等でのイベントでPRを行うことと随時就農相談に応じ、就農希望者への支援を行っている。		●
施策19 生産基盤の整備	水田の整備面積（農振農用地のうち、基盤整備事業により約10a以上に整備された水田の面積） (単位：ha)	・経営体育成基盤整備事業 ・県営農地環境整備事業 ・県営中山間地域総合整備事業	5,180	5,195	5,242	5,195	100.0%	24.2%	市単生産基盤整備事業A=1.2ha 県単中山間地域耕作条件改善事業A=0.4ha 県営中山間地域総合整備事業A=5.5ha	○	年度達成目安を達成した。引き続き、ほ場整備事業の推進を図る。		
	多面的機能支払制度交付金事業の推進 (単位：集落数)	・多面的機能支払交付金事業	99	184	200	179	94.1%	79.2%	新規取組集落=10集落、156.3ha 前年からの増加面積=202.33ha	○	目標達成に向けて、順調に推移している。引き続き、新規取組集落及び面積の増加に向けて、更なる推進活動を行う。		
	(単位：ha)		2,348	3,341	4,000	3,443	110.3%	66.3%					

基本方針2 活力ある元気なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略					
施策 20	農業所得の 向上	新潟県特別栽培農産物認証 制度 米の生産者数 (単位：人)	56	59	70	58	66.7%	14.3%	28年度の県認証生産者は58人、栽培面積は 320.1haとなり、27年度に比べ生産者数で5人、 栽培面積で13.9haの増加となった。	△	新規取組者も増えているが、手続きの煩雑 さや農業者の高齢化により、取組を辞めて いる農業者も出ており、年度達成目安を下 回った。国による生産調整制度の廃止に伴 い、自主販売ルート開拓の手段として、特 別栽培を推進していく。							
		栽培面積 (単位：ha)												319.4	345.5	450.0	320.1	2.7%
		特産品の市外へのPRイベ ント参加数(単位：回/ 年)	12	14	20	27	750.0%	187.5%						市報やホームページ等で広く周知することによ り、多くの農業者等がこの支援事業を活用して市 外PRイベント等に参加し、販路を拡大した。	◎	市内農業者等への周知により、目標値を大 幅に上回った。今後も市報やホームペー ジ等で支援事業をPRし、多くの農業者からの 活用を図る。		
		冬期アグリビジネスチャレ ンジ事業による新たな収入 (単位：千円/年)	5,544	6,435	10,000	15,135	1076.4%	215.2%						㈱A・ファーム雪の十日町が経営する農家レスト ラン「そばの郷 Abuzaka」の施設整備の支援を 県単補助と併せて実施した。	◎	農家レストラン「そばの郷 Abuzaka」の売 り上げが予想よりも多く、目標を大幅に達 成している。また、今まで支援した事業者 も順調に売り上げを確保している。引き続 き、事業の活用を促進し、特に冬期の雇用 を確保することで、更に収入の増加を図 る。		
施策 21	林業の振興	間伐材搬出量 (年：m)	500	600	1,000	1,216.08	716.1%	143.2%	水沢、中里地区の個人所有林等から十日町地域森 林組合が間伐材を搬出した。 十日町地区の大平で10.8ha、松之山地区の坪野 で9.8haの森林整備を実施し間伐材を搬出した。	◎	市有林・市行造林の森林を整備した結果、 想定以上の間伐材が搬出され、目標値を大 幅に達成した。引き続き、市有林整備は毎 年同程度の面積の整備を継続していく。ま た、個人所有林等からの搬出量は、林業事 業体の森林整備によるため、整備面積拡大 を呼び掛ける。							
施策 22	経営基盤の 強化	企業設置奨励条例に基づく 企業支援件数(単位：件)	21 <small>(H22~26合計)</small>	5 <small>(H28)</small>	25 <small>(H28~32合計)</small>	4 <small>(H28)</small>	80.0%	16.0%	設備投資額・新規雇用者数等の要件を満たした企 業に対する利子補給金・奨励金・助成金の交付を 行った。	△	奨励措置の申請年度の関係で、年度目標値 は下回った。ただし、目標値以上の申請予 定事業所があるため、引き続き制度のPRと 活用の斡旋を図る。							
		販路開拓支援件数 (単位：件/年)	22	26	40	25	75.0%	16.7%	・地域商社化事業における新規生産者、販売所の 開拓 ・市内事業所の国内外の見本市等への出展経費助 成 ・中小企業診断士による発注開拓支援 ・織物販路開拓事業支援	△	年度目標には達しなかったが、増加傾向に ある。営業活動にさらに力を入れ、地域商 社化事業における新規開拓、中小企業診断 士による発注開拓を図り、目標値達成を目 指す。							
		就業率(20歳～64歳) (単位：%)	83.15	85.20	84.00	85.20	100.0%	241.2%	・雇用創出につながる企業の奨励措置 ・ひとづくり支援事業による人材確保	◎	目標値を達成した。次回国勢調査が32年で あり、その数値を上げるために今後も継続 して取り組む。							

基本方針2 活力ある元気なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 23	特色ある商業活動の展開	商店街・商業団体における賑わい創出イベント実施数(単位:団体/年)	11	13	20	20	450.0%	100.0%	・商店街活性化支援事業による補助 ・市街地活性化NPOへの委託(まちなか元気応援助成金)	◎	目標値を達成した。引き続き、商店街活性化支援事業等の積極的な活用を促し、毎年目標値を達成できるように取り組む。		
		市内宿泊施設の年間宿泊客数(単位:人/年)	124,993 (H22~26平均)	241,317 (H28)	132,000 (H28~32平均)	241,317 (H28)	100.0%	1660.1%	・国内での商談会などでのPR、観光キャラバンの実施 ・「大地の芸術祭の里」の通年誘客を目的とした四季のプログラムの開催 ・海外メディア、エージェント向けの招聘ツアーの実施(ほか)	◎	目標値を達成した。平成32年度までの目標値を平均25万人に再設定し、更なる宿泊者数の増加を目指す。		
施策 24	新たなビジネスの創出	新規創業件数 ※創業支援事業対象者(単位:件/年)	3.2 (H21~26平均)	5.0 (H28)	5.0 (H28~32平均)	10.0 (H28)	377.8%	377.8%	・未来を拓く創業支援事業による補助 ・ビジネスコンテストの開催 ・創業塾開催	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、補助制度の活用促進と、新規創業者の発掘に取り組む。		●
		新商品等開発支援事業による開発件数(単位:件/年)	3.4 (H21~26平均)	5.0 (H28)	5.0 (H28~32平均)	4.0 (H28)	37.5%	37.5%	・新商品等開発支援事業による補助	△	企業の積極的な活用が図れず、目標値を下回った。引き続き、商工会議所、商工会と連携し、補助制度の積極的な活用を促し、目標の達成を目指す。		
		企業設置奨励条例に基づく支援企業件数(単位:件)	21 (H22~26合計)	5 (H28)	25 (H28~32合計)	4 (H28)	80.0%	16.0%	(再掲)	△	(再掲)		
施策 25	生涯学習の推進	子どもたちの体験事業への参加者数(単位:人/年)	6,115	6,232	6,700	6,470	303.4%	60.7%	公民館や森の学校キョロロなどの社会教育施設において、自然・生活・社会などの体験事業を実施した。	◎	公民館や森の学校キョロロなどの社会教育施設において、特色を生かした事業を企画し、年度目標値を大幅に達成した。引き続き、関係機関・団体と連携を強化し、様々な体験事業を展開する。		
		はぐくみのまちづくりフォーラム参加者数(単位:人/年)	380	404	500	250	-541.7%	-108.3%	子育てや心のケアというような柔らかなテーマなど多岐にわたり歌や語りを交えたコンサート形式の公演を開催した。	△	11月の休日にコンサート形式の公演を開催したものの、学校行事等と重なり保護者の参加が伸びず、目標値を達成できなかった。引き続き、市PTA連合会や津南町と協力し「はぐくみのまちづくり運動」を推進していく。		
		施設の耐震化・改築 14 施設(公民館・情報館・キョロロ等)(単位:耐震施設数)	5	5	7	5	100.0%	0.0%	平成29年11月開館に向けて、新中央公民館等の建設を継続した。	○	目標達成に向けて、新中央公民館等の建設工事がほぼ順調に進んだ。今後は、地区館等の耐震診断を実施し、耐震化または改築計画を策定のうえ取組を進める。		
		市民一人あたり図書等の貸出冊・点数(単位:冊・点/人)	4.61	4.73	5.20	5.26	541.7%	110.2%	平成27年度に引き続き、資料の優先配分や書架整理等への支援など、分室の資料貸出数増加のための取り組みを行った。その結果、分室の資料貸出数などが順調に伸びている。	◎	資料の優先配分や書架整理等への支援など、分室の資料貸出数増加のための取り組みを行った結果、分室の資料貸出数などが順調に伸び、目標値を大幅に達成した。引き続き、平成28年度の水準を維持できるように取り組んでいく。		

基本方針2 活力ある元気なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 26	文化芸術活 動の充実	文化ホール・中央公民館利 用者数(単位:人/年)	68,000	70,720	81,600	65,360	-97%	-19.4%	目標数値には届かなかったが、別会場において「新潟県美術展覧会(十日町巡回展)」を開催する等、文化芸術の振興に取り組んだ。(入場者数3,125人) 65,360+3,125=68,485人	△	市民交流センター、市民活動センターがオープンしたことにより利用者が分散し、目標値に届かなかった。越後妻有文化ホール・中央公民館において自主事業等を本格的に組むなど、来場者・利用者の増加を図る。		
		市美術展の出品者数 (単位:人)	230	230	230	233	101.3%	101.3%	過去の出品者への出品依頼の送付に加え、市内高等学校へも出品依頼を行い、若者を中心とした出品者の開拓に取り組んだ。公共施設を中心にポスターの掲示を実施、市報、ホームページでのPRを行った。	◎	積極的な広報活動を行い、年度目標値を達成した。会場を越後妻有文化ホール・中央公民館に移す予定のため、施設利用客等を呼び込むことで、入場者数増加を図る。		
		市美術展の入場者数 (単位:人)	1,309	1,347	1,500	1,413	274%	54.5%					
施策 27	文化財の保 護と活用	文化財関連施設(十日町市 博物館、まつだい郷土資料 館、松之山郷民俗資料館) の入館者数(単位:人/ 年)	21,800	23,440	30,000	24,501	165%	32.9%	各文化財関連施設において、様々な活動を展開することにより、入館者増を図ってきた。	○	各文化財関連施設において、様々な活動を展開することにより、入館者数の年度目標値を達成した。新博物館建設を計画通り進めるとともに、各施設の継続的な活動展開により、目標達成をめざす。		
		指定文化財、登録文化財の 件数(単位:件)	163	164	170	165	200%	28.6%	中手の黒滝(名勝)、野首遺跡出土品(考古資料)の2件が市文化財に指定された。	○	新たに2件を追加し、年度目標値を達成した。歴史文化基本構想策定と併せ、文化財の調査・研究を進め、目標達成をめざす。		
施策 28	スポーツ活 動の推進	スポーツ交流人口を含めた スポーツ施設の利用者数 (単位:人/年)	394,087	399,269	420,000	405,582	222%	44.4%	陸上競技場改修工事	◎	陸上競技場の改修を行っていたものの、年度目標値を大幅に達成した。引き続き、維持修繕を計画的に行いながら良好な施設を提供し、利用数の増加を図る。		
		成人の週1日以上のスポー ツ実施率(単位:%)	43.1	44.5	50.0	49.1	429%	87.0%	本庁・各支所単位でスポーツ振興事業に取り組みスポーツに触れ合う機会を提供した。	◎	スポーツ振興事業に取り組みに年度目標値を大幅に達成した。目標達成に向けて、引き続き、スポーツに対する意識向上のための情報や機会を提供する。		
		スポーツ合宿利用者数 (単位:人/年)	11,900	12,520	15,000	8,876	-488%	-97.5%	東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン事業の取組を実施した。	△	陸上競技場改修のため合宿利用が出来ず、目標値を達成できなかった。引き続き、スポーツ合宿情報をスポーツコミッションを通じてPRを行い、目標達成を図る。		

基本方針2 活力ある元気なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 29	地域おこし協力隊の定住率 (単位：%)	・地域おこし協力隊の設置	66.7	69.2	80.0	69.2	101%	19.0%	9人任用、6人退任（うち4人定住）	○	年度目標値を達成した。引き続き、起業支援や配置地区の関係者と共に定住に向けた支援に取り組んでいく。		
	「小さな拠点」づくりに取り組む 地域再生計画の認定件数 (延べ) (単位：件)	—	—	1	1	1	100.0%	100.0%	平成27年度末に地域再生計画「道の駅を核とした仙田創生プラン～小さな拠点で「地区・ひと・サービス」をつなぐ～」が認定され、平成28年度は「せんだ元気ハウス」に建設など各種事業に取り組んだ。	○	仙田地区が小さな拠点として認定され、目標を達成した。仙田地区においては、認定された地域再生計画に基づき、各種事業に取り組むほか、他地区においても、仙田地区をモデルに小さな拠点の形成を検討する。		
施策 30	移住・定住の促進 移住者数（市や県の移住促進事業を活用して移住した人数）（単位：人/年）	・定住促進助成事業	16 <small>(H21～26平均)</small>	36 <small>(H28)</small>	36 <small>(H28～32平均)</small>	102 <small>(H28)</small>	430.0%	430.0%	首都圏で開催された11回のセミナー等に移住相談ブースを設け、庁内横断的に移住定住支援制度の紹介を行うほか、「十日町カフェ」として移住検討者から当市にお越しいただく機会を新たに設け、市内での雪を活用したイベントに参加いただき、当市の魅力を実感いただいた。	◎	定住促進助成事業による20世帯75人を中心に102人の移住者の獲得につなげることができ、目標値を達成した。引き続き、庁内他課と連携して移住支援制度の発信、周知に努めるとともに、「移住体験ツアー」で当市を見聞する機会を通して、魅力を発信し移住定住者の獲得につなげていく。		●
施策 31	成婚カップル数（延べ） (単位：組)	・とおかまちハッピー婚シェルジュ事業	—	3	15	4	133.3%	26.7%	5回のイベント開催を通じて、合計102人が参加し、23組のカップルが誕生している。また新潟県の首都圏交流事業を活用し、出会いの機会を創出することができた。	○	サポーター、サポートセンター及び婚活イベントと結婚促進の全取組においてカップルを成婚につなげることができ、年度目標値を達成した。引き続き、イベント事前セミナーを含め、独身男性の意識改革、資質向上につながる取組から、まずは交際カップル数の増加を図る。		
	結婚相談登録者数 (単位：人)	・ハビ婚サポートセンターの設置 ・ハビ婚サポーター事業	78	112	250	153	221%	43.6%	「ハッピー婚シェルジュ」（出会いの場提供）事業と連携し、サポートセンターの概要説明、会員募集に関する周知を行った。 サポーター会議を定例化し、情報共有を図り、サポーターが支援する独身男女のセンターへの誘導を行った。	◎	サポーターが支援する独身男女のセンターへの誘導を行ったほか、婚活イベント等と連動させること年度目標を大幅に達成した。市内企業訪問等を通して、当市の結婚促進の取組について周知を図るとともに、会員ごとの細やかなサポートに努め、会員の信頼を獲得し、まずは交際数の増加につなげていく。		

基本方針名	評価区分			
活力ある元気なまちづくり	◎	○	△	—
施策数 計：19/まちづくりの目標値数 計：41	20	10	11	0
構成割合	73%		27%	
	0%			

※まちづくりの目標値数は、再掲数を除く。

基本方針3 安全・安心なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度未 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 32	自主防災組織等が主体となり実施している防災訓練実施率(単位:%)	・自主防災組織育成事業	24.1	25.0	40.0	15.5	-956%	-54.1%	H28年度は、目標値の25%に対して、15.5%と訓練実施率は低い。目標値に反して、近年防災訓練実施率は減少傾向にある。その原因としては、近年大きな災害が無く、防災意識の低下が考えられる。また、防災訓練実施に際しての申請書未提出の可能性もある。	△	近年大きな災害が無いことから、防災訓練実施率は減少傾向にあり、目標値を達成できなかった。防災意識の向上を図るため、必要に応じて、防災講演会等を開催する。 また、防災訓練実施に際しての申請書提出について再度周知の徹底を行う。また、それと同時に防災訓練への講師派遣(「NPOぼうさい」に委託。)についても周知し、実施率の向上へつなげる。		
	地域防災訓練に参加する市民の数(単位:人/年)	—	5,386	5,500	8,000	4,605	-685%	-29.9%	H28年度は、目標値5,500人に対して4,603人と少ない。しかし、H27年度は、4,332人であったことから、目標値には届かないものの、参加者は増えている。	△	防災意識の低下や訓練実施率が低く留まっていることもあり、目標値を達成することができなかった。防災訓練の実施率の向上及び防災意識の向上を図り、市民の参加を促す。		
	携帯メール等情報伝達事業の携帯メールの登録割合(携帯電話所持者)(単位:%)	—	57.0	61.6	80.0	60.0	65%	13.0%	十日町あんしんメールは、平成22年10月から運用を開始し、市の安全・安心のための情報伝達手段として、積極的な活用を図っている。登録者数の増加に向けて、広報誌やHP、各種イベントなどでの周知のほか、平成25年度からは、SNS(フェイスブック・ツイッター)との連携を開始している。登録者数は、平成28年度時点では、7千人を突破している。	△	登録者数は増加傾向にあるものの、年度目標値には届かなかった。今後も適当な機会を利用し、周知を行い、登録を促していく。		
施策 33	消防団員の応急手当普及員資格者数(単位:人)	—	65.0	72.0	100.0	94.0	414%	82.9%	消防団員への積極的な働きかけにより、資格者数の増加が見られた。	◎	消防団員への積極的な働きかけにより、資格者数の増加し、年度目標値を大幅に達成した。引き続き、応急手当普及理念を理解してもらうことに重点を置き、普及員のさらなる増加に取り組む。		
	応急手当講習の受講率(単位:%)	—	15.3	17.3	25.0	21.0	285%	58.8%	現計画は平成21年から30年までの10年間の応急手当受講率(累計)での達成状況であるが、応急手当短時間講習の導入により、受講者の裾野を広げることができ、年間約1500人の住民の方から受講を得ている。	◎	応急手当短時間講習の導入や応急手当普及員の増員により受講者数が増加し、年度目標値を大幅に達成した。今後も普及員自身が開催する応急手当講習会を支援することで、当初目標の達成に取り組む。		
	応急手当講習の受講者数(単位:人)	—	8,654	9,703	13,900	13,908	501%	100.2%					

基本方針3 安全・安心なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名		まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 33	消防・救急 体制の充実	住宅用火災警報器の普及率 (単位：%)	—	89.0	91.2	100.0	92.1	141%	28.2%	住宅防火講習会、火災予防運動期間中の大型店舗での広報及び各種イベントでの設置促進指導の実施。	○	住宅防火講習会、火災予防運動期間中の大型店舗での広報及び各種イベントでの設置促進指導の実施などにより、普及率の年度目標値を達成した。引き続き、維持管理及び条例適合箇所（寝室等）の設置を積極的に広報していく。		
		住宅用火災警報器の条例適合率 (単位：%)	—	61.0	68.8	100.0	67.5	83%	16.7%					
施策 34	交通安全対 策の推進	十日町警察署管内の交通事故 発生件数（単位：件／年）	—	112	107	90	72	800.0%	181.8%	交通安全協会、警察署及び市の相互連携による交通安全対策や交通安全運動を実施した。	◎	交通事故発生件数が大幅に減少し、目標を達成している。事故の特徴などの分析により重点施策を実施し、事故発生抑制に努める。		
		交通事故による死傷者数 (単位：人／年)	—	131	126	110	80	1020.0%	242.9%	交通安全協会、警察署及び市の相互連携による交通安全対策や交通安全運動を実施した。	◎	交通事故発生件数の減少に伴い、死傷者数も大幅に減少し目標を達成している。事故の特徴などの分析により重点施策を実施し、事故発生抑制に努める。		
施策 35	防犯対策の 推進	十日町警察署管内の刑法犯発 生件数（単位：件／年）	・青色回転灯パトロール事業 ・防犯灯整備事業	289	267	180	181	490.9%	99.1%	市内各地域の防犯関連組織、警察署及び市による防犯活動の実施した。	◎	刑法犯発生件数が大幅に減少し、目標を達成した。引き続き、市内各地域の防犯関連組織、警察署及び市による防犯活動を継続し、発生を抑制する。		
		消費生活講習会の実施回数 (単位：回／年)	—	6	10	10	16	250.0%	250.0%	行政主催講座（「出前講座」「賢く使おうスマートフォン」）、消費者協会主催講座（「食品ロスを考える」）を開催した。	◎	目標回数を大幅に達成した。今後も継続して啓発に取り組む。		
施策 36	健康づくり の推進	自殺率の減少（10万人当 たり）（単位：人／年）	・地域精神保健促進事業	39.7 (H22~26平均)	35 (H28)	35 (H28~32平均)	— (H28)	—	—	自殺予防対策連絡会の設置、高齢者のうつスクリーニング調査訪問、専門相談としてのこのころの健康相談、職域や地域への知識啓発事業、相談支援従事者等研修会、などの地域自殺対策事業を実施した。	—	平成28年度の実績は、確定・公表されていない。引き続き、関係機関との連携強化、ハイリスク者及び地域への介入を強化する。		
		胃がん検診受診率 (単位：%)	・健康診査事業 ・各種がん検診事業	17.9	18.0	18.5	19.0	1100.0%	183.3%	未受診者に対し、受診勧奨や休日検診の実施など、受診しやすい体制づくりに取り組んだ。	◎	目標値を大幅に達成した。引き続き、未受診者に対し、受診勧奨や休日検診の実施など、受診しやすい体制づくりに取り組む。		
施策 37	地域医療の 充実	10万人あたりの医師数 (単位：人)	・医師派遣大学寄附事業 ・医師研究資金貸与事業 ・医療施設整備等支援事業	111.7	112.4	115.0	—	—	—	医師確保に向けた支援事業の実施とともに、市出身医師との面談を実施した。	—	平成28年度の実績は、公表されていない。既存の事業を継続的に実施していく。		
		人口10万人あたりの看護師 数（単位：人）	・看護師・理学療法士等修学資金貸 与事業	1,044	1,055	1,100	—	—	—	看護職員確保に向けた支援事業の実施とともに、看護専門学校の誘致を実施した。	—	平成28年度の実績は、公表されていない。既存の事業を継続的に実施していく。		

基本方針3 安全・安心なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 38	低炭素・循環型社会の推進	再生可能エネルギーの創出量 (単位：メガワット/年)	4,838	5,523	20,000	5,523	100.0%	4.5%	(公共施設) ・ペレットボイラー2基設置 (一般家庭への補助) ・太陽光8件、地中熱1件、ペレットストーブ6件	○	公共施設へ再生エネルギー機器を2基導入し、家庭用再生エネルギー機器も地中熱利用が新規導入され、年度目標値を達成した。引き続き、再生エネルギー設備の積極的な導入と、市民への普及啓発の推進を図る。		●
		一般廃棄物再資源化率 (単位：%)	21.0	22.0	26.0	19.9	-110.0%	-22.0%	16分別収集に加えスマートフォンアプリの導入によるリサイクルの啓発	△	目標値を達成出来なかった。平成28年度から一元化となった中里・松之山地域への資源ごみリサイクルの啓発、小型家電回収及び生ごみの資源化による資源化率の増加を図る。		
		一般廃棄物(ごみ)排出量 (単位：t/年)	20,939	19,860	17,290	18,435	232.1%	68.6%	16分別収集に加えスマートフォンアプリの導入によるリサイクルと減量化の推進	○	年度目標値を達成している。しかし、中里・松之山地域のごみ処理一元化による津南地域衛生施設組合への駆け込み処理による一時的な減量であるため、引き続き、小型家電や生ごみの回収など新たな資源回収による減量化対策などを実施する。		
施策 39	豊かな自然環境の保全	環境美化運動参加者数 (単位：人/年)	5,705	5,964	7,000	3,551	-831.7%	-166.3%	従来、各地域が別々の日程で開催していたクリーン作戦を全市統一で4月29日に開催することに変更した。メイン会場は、従来どおり信濃川河川敷の「つまりっ子広場」。	△	天候の影響もあり参加者数が減少し、目標値を達成できなかった。開催日を全市統一にしたことから、各地域の清掃活動に参加してもらえよう、教育委員会と連携して各小中学校に呼びかけを行う。		
		苦情処理件数 (単位：件/年)	68	63	50 (65)	70	-40.0%	-11.1%	通報の度に関係機関と連携し対応するとともに、原因者が特定出来た場合は注意を行ってきた。また、市報やホームページでの注意喚起やバトルロールなどを行ってきた。	△	当初の目標値は、65件/年であったが、さらに高い目標値(50件/年)を目指すこととした。引き続き、市報やホームページを活用した注意喚起と意識啓発を行うとともに、監視体制や関係機関との連携強化を図り、公害苦情件数の更なる減少を図る。		

基本方針3 安全・安心なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の実績状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 40	水資源の確保と活用	信濃川ラフティングの利用者数(単位:人/年)	1,398	1,720	3,000	2,072	209.3%	42.1%	越後田舎体験の学校団体と一般体験者数の合計。田舎体験プログラムとして積極的に売り込みを実施した。	◎	年度目標値を達成した。引き続き、田舎体験の新規校開拓に取り組む。		
		消雪パイプ用節水タイマーの設置数(延べ)(単位:箇所)	5	8	20	6	33.3%	6.7%	新規1箇所に設置	△	新たに1箇所に設置したものの、消雪に直接関係することから設置が進まず、年度目標値には届かなかった。引き続き、地域の理解が得られるように取り組む。		
施策 41	道路網の整備	市道改良率(単位:%)	62.3	62.4	63.0	62.4	100.0%	9.9%	市道中条旭町上町線ほか40路線の工事を実施中であるが、うち野口西浦2号線ほか8路線について整備完了となった。	○	年度目標を達成した。今後、新規路線の追加は困難な状態であるが、引き続きコストダウンを図りながら、改良率の向上に努める。		
		歩道整備延長(のべ延長)(単位:km)	43.7	43.7	47	43.7	100.0%	0.8%	交通量が多く、歩行者の安全確保が急務な市道高山城之古線の歩道整備を優先的に行った。	○	年度目標を達成した。今後、新規路線の追加は困難な状態であるが、現在整備中の路線については、事業が滞ることのないよう整備を進める。		
		橋りょう長寿命化修繕率(要修繕橋りょう46橋)(単位:%)	2.0	15.3	46.0	15.3	100.0%	30.2%	橋梁修繕3箇所(大黒沢橋、栗ノ木田橋、中沢大橋)	○	順調に修繕が進み、目標値を達成した。		
		(単位:橋)	1	3	21	3	100.0%	10.0%					
施策 42	上下水道の整備	有収率(単位:%)(料金対象水量÷年間総配水量)	84.2	84.8	87.0	86.2	333.3%	71.4%	H28年度より漏水調査(委託)を実施。実施地区:十日町市街地	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、有収率アップに向け漏水調査を推進し、経営基盤の強化と給水サービスの向上を図る。		●
		水洗化率(単位:%)(水洗化人口÷処理人口)	91.1	91.7	94.0	92.1	160.0%	33.1%	戸別訪問による接続意識調査を実施。実施地区:中条地区	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、戸別訪問や広報活動により向上を目指す。		●
施策 43	生活交通の維持・確保	十日町駅の乗車数	496	500	500	506	250.0%	250.0%	鉄道利用促進補助の継続実施(1団体36人利用)	◎	目標値を達成している。引き続き、事業者と連携し、利用者が利用しやすい環境の整備を図る。		
		飯山線(単位:人/日)	694	695	700	700.5	650.0%	108.3%					
		ほくほく線(単位:人/日)	17,187	17,000	17,000	13,514	未達成	未達成	16系統運行13,514人(H27:16,346人) ※スクールバス利用者数を除く	△	利用者数が減少し、目標値を達成できなかった。減少要因の分析を行い、運行地区の住民が利用しやすい運行体制に適宜見直しを行う。		
		市営バス・乗合タクシーの利用者数 市営バス(単位:人/年)	2,668	2,734	3,000	2,099	-862.1%	-171.4%	7地区8路線運行 2,099人(H27:2,380人)				

基本方針3 安全・安心なまちづくり

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 44	住宅・公園 等の整備	住宅の耐震化率 (単位：%)	62.0	64.8	76.0	64.2	78.6%	15.7%	木造住宅の「耐震設計補助制度」を新設し、耐震診断補助や耐震改修補助と併せ、耐震化のさらなる推進を図った。	△	耐震化率は伸びているものの、目標値は達成できなかった。引き続き、市民への耐震関連補助制度を広くPRし、旧耐震基準の住宅を中心として周知を行う。		
		公園の遊具更新箇所数(延べ) (単位：箇所)	13	15	24	14	50.0%	9.1%	中条児童遊園地ブランコ改修	△	1公園の遊具の改修を行ったものの、年度目標値は達成できなかった。2公園/年の更新を実施する。		
		公営住宅の大規模改修棟数 (延べ) (単位：棟)	17	19	26	19	100.0%	22.2%	・下町住宅外部改修工事	○	2棟の大規模改修を実施し、年度目標値を達成した。引き続き、年間1～2棟づつ大規模改修を実施していく。		
施策 45	計画的な土地利用の推進	市街地の地籍調査進捗率 (単位：%)	30.4	42.0	91.4	42.0	100.0%	19.0%	計画をしていた市街第8,9計画区の調査が完了する。次年度完了計画区の現地調査も順調に進む。	○	年度目標値を達成した。今後も目標値達成に向けて、関係者との調整とスケジュール管理を着実にを行う。		
施策 46	冬期間の交通確保	消雪パイプ整備延長 (単位：km)	78.1	81.1	81.7	81.1	100.0%	83.3%	整備延長 0.4km	◎	交付金事業を活用し、年度目標値を達成した。引き続き、計画に基づき整備を行う。		
		流雪溝整備延長 (単位：km)	79.1	82.7	87.7	82.7	100.0%	41.9%	整備延長 1.4km	◎	交付金事業を活用し、年度目標値を達成した。引き続き、計画に基づき整備を行う。		
施策 47	克雪・利雪対策の充実	住宅の克雪化率 (単位：%)	58.0	59.4	65.0	60.5	178.6%	35.7%	克雪すまいづくり補助制度を継続的に実施したことにより、克雪化率の進捗が図られた。	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、克雪住宅補助制度を広くPRし、克雪化を推進していく。		

基本方針名	評価区分			
安全・安心なまちづくり	◎	○	△	—
施策数 計：16/まちづくりの目標値数 計：35	14	8	10	3
構成割合	63%		29%	9%

基本方針4 まちづくりの推進に向けて

まちづくりの目標値の達成状況

施策名		まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 48	地域自治の 推進	地域自治組織パワーアップ事業 実施件数 (単位: 件/年)	・地域自治推進事業交付金	3	4	5	4	100.0%	50.0%	地域活性化型: 中条飛渡・十日町南・松代、 移住促進型: 中条飛渡	○	年度目標件数を達成した。引き続き、地域自治組織に対して、活用のための周知を図る。		
施策 49	市民活動の 推進	市民活動相談窓口の利用件数 (単位: 件/年)	・協働のまちづくり事業	50	70	150	166	580.0%	116.0%	5月から窓口をまちなかステージに移し、実施した。	◎	まちなかステージの施設利用者を中心に相談件数が伸び、目標値を大幅に達成した。引き続き、新規団体の掘り起し等を通じて取組みを広げていく。		
		とおかまち知恵出しプレゼンテーション事業実施件数 (単位: 件/年)	・とおかまち市民活動助成金事業	—	5	5	4	80.0%	80.0%	とおかまち市民活動助成金として実施した。	△	目標値を下回った。新規事業ということもあり、周知不足があった。広く周知していくとともに、活用した団体の紹介方法について検討していく。		●
施策 50	効果的・効率的な行政 運営	職員研修への年間参加回数 (単位: 回/人)	・職員研修事業	1.05	2.00	2.50	2.05	105.3%	69.0%	研修参加延べ1,048人/職員数511	○	年度達成目安を達成した。引き続き、職員の研修参加を促す。		●
		人事評価制度の実施	—	—	実施	実施	実施	達成	人事評価を年2回実施した。	○	人事評価を年2回実施し、目標を達成している。引き続き、人事評価制度を実施する。		●	
		目標管理制度の実施	—	—	一部実施	実施	一部実施	達成	チャレンジ目標を導入した。	○	チャレンジ目標制度を導入し、年度達成目安を達成している。引き続き、制度を継続し、目標管理制度実施につなげる。		●	
		指定管理者制度の新規導入施設数 (単位: 施設数)	—	—	5	18	5	100.0%	27.8%	芸術祭関連施設3件、体育施設2件に新規導入した。	○	芸術祭関連施設3件、体育施設2件に新規導入し、年度達成目安を達成した。指定管理に適合した施設があれば導入を検討するが、指定管理施設であっても売却等が見込まれる施設が出てくれば、それも並行して検討するため、導入施設の総数が減少していくことも有り得る。		●

基本方針4 まちづくりの推進に向けて

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度 of 取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略	
施策 51	健全な財政 運営	経常収支比率（一般会計）	—	92.7	95.0未満	95.0未満	95.2	未達成	交付税や地方消費税交付金などの歳入経常一財が584,807千円減となったため対前年比で+2.4ポイントとなった。	△	目標基準値を超えたため、未達成となった。交付税等の歳入が減少する中、市民サービスの向上や少子化対策、交流人口の増加施策などの事業費を確保する必要があることから、歳出経常一財の大幅な削減が困難な状況となっており、経常収支比率の増加に繋がった。事務事業のスクラップアンドビルドの更なる強化を図り、歳出経常一財を削減することにより、H32年度の目標値達成を目指す。	●		
		財政調整基金保有額（一般会計）（単位：億円）	—	25.9	30.2	32.0	30.2	100.0%	70.5%	当初予算で4億円の取崩しを計上していたが、3月補正予算時に全額戻し入れることとしたため、標準財政規模の約15%相当額を維持した。	○	年度達成目安を達成した。今後、地方交付税の削減が進むため、基金の大幅な積立は困難な状況になるものの、引き続き適正な残高管理を行っていく。	●	
		地方債残高（一般会計）（単位：億円）	—	445.7	439.3	467.0 未満	439.3	達成	達成	繰上償還の実施及び優良債を活用した結果、地方債残高は対前年比で433,713千円減少した。	○	地方債残高が減少し、年度達成目安を達成した。H30～31年度に計画されている投資事業がピークを迎えるため地方債残高は上昇していくが、H32年度以降は下降し、残高は減少していくものと見込む。	●	
		事務事業の整理・統合・廃止	—	実施	追加実施	追加実施	追加実施	達成	達成	予算編成時に廃止等検討事業を選定、事業課調整し、一財ベースで89,528千円を削減した。	○	廃止・休止・縮小事業を選定し一定規模のスクラップアンドビルドを実行し、目標を達成した。引き続き、スクラップアンドビルドの更なる強化を図る。	●	
		公共施設等総合管理計画の策定・推進	・公共施設等総合管理計画の策定	—	実施	実施	実施	達成	達成	公共施設等総合管理計画の策定が完了した。	○	公共施設等総合管理計画を策定し、年度達成目安を達成した。今後、計画を推進するため、行動計画として個別計画が必要となる。ただし、個別計画の有無に関わらず遊休施設の解体等を検討していく。	●	
市税等（6項目）の収納率（単位：%）	—	96.5	96.5	96.5	96.5	達成	達成	早期に滞納者との接触を図り生活状況の把握に努め、それぞれの実態に応じた滞納処分を行った。一括納付が無理な場合、滞納者に完納計画の作成とその実行を求めた。また、納税意識のない滞納者には、善良な納税者との公平性を保つため、滞納者の財産を調査し、差押等の滞納処分を行った。インターネット公売を3回実施し、その内容を市報・ホームページに掲載することで納税意識の高揚を図った。	○	目標を達成している。引き続き、早期に滞納者との接触を図り生活状況の把握に努め、それぞれの実態に応じた滞納処分を行う。一括納付が無理な場合、滞納者に完納計画の作成とその実行を求めた。また、納税意識のない滞納者には、善良な納税者との公平性を保つため、滞納者の財産を調査し、差押等の滞納処分を行う。毎年、インターネット公売を1回以上行うとともに、その内容を市報・ホームページに掲載することで納税意識の高揚を図っていく。	●			

基本方針4 まちづくりの推進に向けて

まちづくりの目標値の達成状況

施策名	まちづくりの目標値	主要事業	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証	行革 項目	未来 戦略
施策 52	ホームページの年間アクセス数(単位:回/年)	・ホームページ運営事業	696,209	703,967	735,000	754,972	757.5%	151.5%	リニューアルした効果を最大限に発揮するため、積極的な情報更新を行った。	◎	積極的な情報更新を行った結果、計画を上回るアクセス数となり、目標値を大幅に達成した。引き続き、マイナーチェンジなども加えアクセス数増を目指す。	●	
	広聴活動への市民の参画人数(単位:人/年)	・市長とふれあいトーク、サタデー市長室、市長への便り	557	560	600	497	-2000.0%	-139.5%	市長とふれあいトーク(13回・293人)、サタデー市長室(1回・8人)、市長への便り(196通)	△	年度達成目安は未達成であった。市長への便りが増えた一方、ふれあいトークが減となっている。今後、広聴業務の展開について刷新を図る。	●	
	審議会等における公募委員の割合(単位:%)	—	10.18	14.14	30.0	8.52	-41.9%	-8.4%	公募委員の登用状況の把握に併せて、審議会等を所管する所属へ周知を行ったが、目標に至らなかった。	△	目標値に至らなかった。その設置目的から委員の公募が困難な審議会等を除き、設置条件・規則・要綱等の見直しも含め、登用率の向上を各課へ働きかけ、目標達成を目指す。	●	
施策 53	高度情報化社会への対応	申請・届出等手続におけるオンライン利用率(単位:%)	15.6	17.5	25.0	22.2	347.4%	70.2%	オンライン手続きの周知	○	年度達成目安を達成した。引き続き、周知を行うとともに、オンライン申請できる事務の増加を図る。		

基本方針名	評価区分			
まちづくりの推進に向けて	◎	○	△	—
施策数 計:6/まちづくりの目標値数 計:17	2	11	4	0
構成割合	76%		24%	0%

総計	評価区分			
	◎	○	△	—
施策数 計:53/まちづくりの目標値数 計:118	41	40	31	6
構成割合	69%		26%	5%

(2) 未来戦略別

未来戦略名		施策の方向	前期基本 計画関係 施策No.	まちづくりの目標値	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (C)	達成状況 (d) (H28末)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価 区分	評価・検証					
1	時代を担う「人材」を育てます	①知育 ②心の教育(徳育) ③体力づくり(体育)	2,4,5,28	住む地域や十日町市が好きと思う児童生徒の割合(単位:%) (十日町市小中一貫教育取組評価の質問)	小学3~6年生	小学3~6年生	小学3~6年生	小学3~6年生	小学3~6年生	小学3~6年生	ふるさとの自然や文化等を活用した学習活動を通じて、郷土愛の醸成に取り組んだ。	△	目標値は下回ったものの、高い数値となっている。引き続き、ふるさとの自然や文化等を活用した学習活動を実施するほか、市内小5~中3の児童生徒全員に地域の魅力などを学ぶための「ふるさと教材」を配布し、郷土愛の醸成に取り組む。					
					96.8	96.8	96.8	94.8	未達成	未達成								
				中学生	中学生	中学生	中学生	中学生	中学生	中学生								
				88.8	88.8	88.8	88.7	未達成	未達成									
				将来の夢や希望を持っている児童生徒の割合(単位:%) (全国学力・学習状況調査の質問)	小学6年生	小学6年生	小学6年生	小学6年生	小学6年生	小学6年生				小学6年生	小学6年生	小中一貫教育による、小中間で連携した「挨拶運動」「部活動体験」「ようこそ先輩」などの取組を支援した。	△	数値が低下し、目標値を下回った。引き続き、自立して社会で生きる子どもの育成を目指し、キャリア教育を推進していく。
					86.3	86.7	88.0	82.2	-1025.0%	-241.2%								
中学3年生	中学3年生	中学3年生	中学3年生	中学3年生	中学3年生	中学3年生	中学3年生											
72.2	73.2	77.0	71.3	-90.0%	-18.8%													
2	十日町市への人の流れを加速します	①大地の芸術祭の里ブランドの構築と外国人誘客の推進 ②地域資源の活用と交流の拡大 ③移住の促進	13,14,15,16,27,28,30	交流人口 ※観光動態調査 (単位:万人)	242 (H21~26平均)	250 (H28)	250 (H28~32平均)	249 (H28)	87.5%	87.5%	△	目標値には届かなかったものの、基準値と比べ、交流人口は増加している。大地の芸術祭の里をはじめとする通年観光の取組により更なる増加を目指す。						
				移住者数(市や県の移住促進事業を活用して移住した人数) (単位:人/年)	16 (H21~26平均)	36 (H28)	36 (H28~32平均)	102 (H28)	430.0%	430.0%	◎	首都圏で開催された11回のセミナー等に移住相談ブースを設け、庁内横断的に移住定住支援制度の紹介を行うほか、「十日町カフェ」として移住検討者から当市にお越しいただく機会を新たに設け、市内での雪を活用したイベントに参加いただき、当市の魅力を実感いただいた。						
												定住促進助成事業による20世帯75人を中心に102人の移住者の獲得につなげることができ、目標値を達成した。引き続き、庁内他課と連携して移住支援制度の発信、周知に努めるとともに、「移住体験ツアー」で当市を見聞する機会を通して、魅力を発信し移住定住者の獲得につなげていく。						
3	新しい力で産業を活性化します	①人材育成・人材確保 ②創業・新規ビジネスサポート ③農業の担い手づくり	18,22,23,24	新規創業件数 ※創業支援事業対象者(単位:件/年)	3.2 (H21~26平均)	5.0 (H28)	5.0 (H28~32平均)	10.0 (H28)	377.8%	377.8%	・未来を拓く創業応援事業による補助 ・ビジネスコンテストの開催 ・創業塾開催	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、補助制度の活用促進と、新規創業者の発掘に取り組む。					
				新規就農者数 (単位:人/年)	8.6	14.0 (H28)	14.0 (H28~32平均)	13.0 (H28)	81.5%	81.5%				○	年度目標には達しなかったが、新規就農者は増加傾向にある。引き続き、首都圏等でのイベントでPRを行うことと随時就農相談に応じ、就農希望者への支援を行っていく。			

未来戦略名	施策の方向	前期基本計画関係施策No.	まちづくりの目標値	基準値(a)	H28年度達成目安(b)	H32年度目標値(c)	達成状況(d)(H28末)	H28達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	評価区分	評価・検証
4 再生可能エネルギーを最大限創り出します	①地域資源の活用 ②意識啓発と利用エネルギーの転換	38,42	再生可能エネルギーの創出量 (単位：メガワット/年)	4,838	5,523	20,000	5,523	100.0%	4.5%	(公共施設) ・ペレットボイラー2基設置 (一般家庭への補助) ・太陽光8件、地中熱1件、ペレットストーブ6件	○	公共施設へ再生可能エネルギー機器を2基導入し、家庭用再生可能エネルギー機器も地中熱利用が新規導入され、年度目標値を達成した。 引き続き、再生可能エネルギー設備の積極的な導入と、市民への普及啓発の推進を図る。
			市内電力消費量に対する再生可能エネルギーの割合(単位：%)	1.5	1.84	6.7	1.84	100.0%	6.5%	(公共施設) ・ペレットボイラー2基設置 (一般家庭への補助) ・太陽光8件、地中熱1件、ペレットストーブ6件	○	再生可能エネルギーの利用が進み、年度目標値は達成となった。 引き続き、再生可能エネルギーの積極的な利用に向けた取組みを加速させる。
5 健康な高齢者を増やします	①早期発見・早期治療 ②健康づくりの推進 ③高齢者の居場所づくり ④認知症に対する支援体制	8,9,36	新規介護認定者数 (単位：人/年)	1,218 ※H37推計値	938	980	821	141.8%	166.8%	運動教室などの実施に加え、平成28年度から地域包括支援センターによる出前講座などでも積極的に介護予防の推進を図った。	◎	目標値よりも新規介護認定者数が減少し、目標を大幅に達成した。引き続き、介護予防の推進を図る。

未来戦略	評価区分			
	◎	○	△	—
戦略数 計：5 / 目標指標数 計：9	3	3	3	0
構成割合	67%	33%	0%	

(3) 行政改革項目別

①市民との協働・情報共有

取組項目	施策名	まちづくりの目標値	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	区分	評価・検証
市民の参画と協働の推進	52 情報の発信力強化と広聴活動の推進	審議会等における公募委員の割合(単位:%)	10.18	14.14	30.0	8.52	-41.9%	-8.4%	公募委員の登用状況の把握に併せて、審議会等を所管する所属へ周知を行ったが、目標に至らなかった。	△	目標値に至らなかった。その設置目的から委員の公募が困難な審議会等を除き、設置条例・規則・要綱等の見直しも含め、登用率の向上を各課へ働きかけ、目標達成を目指す。
	12 女性が活躍しやすい社会の実現	審議会等の女性委員の割合(単位:%)	23.2	25.6	35.0	22.7	-20.8%	-4.2%	女性登用率を上げるよう呼びかけを行ったが、登用率が下がった審議会があり、目標に至らなかった。	△	登用率が基準年に比べて低下した。第3次男女共同参画基本計画にも盛り込み、委員改選間近に女性の登用を増やすよう各課へ働きかけ、達成率向上を目指していく。
	49 施策2 市民活動の推進	とおかまち知恵出しプレゼンテーション事業実施件数(単位:件/年)	—	5	5	4	80.0%	80.0%	とおかまち市民活動助成金として実施した。	△	目標値を下回った。新規事業ということもあり、周知不足があった。広く周知していくとともに、活用した団体の紹介方法について検討していく。
情報の共有化の推進	52 情報の発信力強化と広聴活動の推進	ホームページの年間アクセス数(単位:回/年)	696,209	703,967	735,000	754,972	757.5%	151.5%	リニューアルした効果を最大限に発揮するため、積極的な情報更新を行った。	◎	積極的な情報更新を行った結果、計画を上回るアクセス数となり、目標値を大幅に達成した。引き続き、マイナーチェンジなども加えアクセス数増を目指す。
		広聴活動への市民の参画人数(単位:人/年)	557	560	600	497	-2000.0%	-139.5%	市長とふれあいトーク(13回・293人)、サタデー市長室(1回・8人)、市長への便り(196通)	△	年度達成目安は未達成であった。市長への便りが増えた一方、ふれあいトークが減となっている。今後、広聴業務の展開について刷新を図る。

行政改革項目名	評価区分			
①市民との協働・情報共有	◎	○	△	—
取組項目 計: 2 / まちづくりの目標値数 計: 5	1	0	4	0
構成割合	20%		80%	0%

②行政運営の効率化

取組項目	施策名		まちづくりの目標値	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	事務局による評価・検証	
											区分	達成に向けて
民間活力の導入	1	保育・幼児教育の充実	保育園の民営化数(延べ) (単位:園)	1	0	4	0	—	0.0%	平成28年度は、地域や保護者への説明、受託法人の選定を行い、H30年度の2園民営化への準備を行った。	○	H30年度の2園民営化に向けて、域や保護者への説明、受託法人の選定を行い、順調に準備が進んだ。引き続き、民営化に向けて準備を進めていく。
	50	効果的・効率的な行政運営	指定管理者制度の新規導入施設数(単位:施設数)	—	5	18	5	100.0%	27.8%	芸術祭関連施設3件、体育施設2件に新規導入した。	○	芸術祭関連施設3件、体育施設2件に新規導入し、年度達成目安を達成した。指定管理に適した施設があれば導入を検討するが、指定管理施設であっても売却等が見込まれる施設が出てくれば、それも並行して検討するため、導入施設の総数が減少していくことも有り得る。
地方公営企業の経営健全化	42	上下水道の整備	有収率(単位:%) (料金対象水量 ÷ 年間総配水量)	84.2	84.8	87.0	86.2	333.3%	71.4%	H28年度より漏水調査(委託)を実施。 実施地区:十日町市街地	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、有収率アップに向け漏水調査を推進し、経営基盤の強化と給水サービスの向上を図る。
			水洗化率(単位:%) (水洗化人口 ÷ 処理人口)	91.1	91.7	94.0	92.1	160.0%	33.1%	戸別訪問による接続意識調査を実施。 実施地区:中条地区	◎	年度目標値を大幅に達成した。引き続き、戸別訪問や広報活動により向上を目指す。
職員の意識改革と人材育成	50	効果的・効率的な行政運営	職員研修への年間参加回数 (単位:回/人)	1.05	2.00	2.50	2.05	105.3%	69.0%	研修参加延べ1,048人/職員数511	○	年度達成目安を達成した。引き続き、職員の研修参加を促す。
			人事評価制度の実施	—	実施	実施	実施	達成	人事評価を年2回実施した。	○	人事評価を年2回実施し、目標を達成している。引き続き、人事評価制度を実施する。	
			目標管理制度の実施	—	一部実施	実施	一部実施	達成	チャレンジ目標を導入した。	○	チャレンジ目標制度を導入し、年度達成目安を達成している。引き続き、制度を継続し、目標管理制度実施につなげる。	

行政改革項目名	評価区分			
	◎	○	△	—
②行政運営の効率化	◎	○	△	—
取組項目 計: 3 / まちづくりの目標値数 計: 7	2	5	0	0
構成割合	100%	0%	0%	

③財政運営の適正化

取組項目	施策名	まちづくりの目標値	基準値 (a)	H28年度 達成目安 (b)	H32年度 目標値 (c)	H28年度末 達成状況 (d)	H28 達成率(%) (d-a)/(b-a)	全体 達成率(%) (d-a)/(c-a)	28年度の取組状況	事務局による評価・検証	
										区分	達成に向けて
計画的な 財政運営	健全な財政運営	経常収支比率（一般会計）	92.7	95.0未満	95.0未満	95.2	未達成		交付税や地方消費税交付金などの歳入経常一財が584,807千円減となったため対前年比で+2.4ポイントとなった。	△	目標基準値を超えたため、未達成となった。交付税等の歳入が減少する中、市民サービスの向上や少子化対策、交流人口の増加施策などの事業費を確保する必要があることから、歳出経常一財の大幅な削減が困難な状況となっており、経常収支比率の増加に繋がった。事務事業のスクラップアンドビルドの更なる強化を図り、歳出経常一財を削減することにより、H32年度の目標値達成を目指す。
		財政調整基金保有額（一般会計）（単位：億円）	25.9	30.2	32.0	30.2	100.0%	70.5%	当初予算で4億円の取崩しを計上していたが、3月補正予算時に全額戻し入れることとしたため、標準財政規模の約15%相当額を維持した。	○	年度達成目安を達成した。今後、地方交付税の削減が進むため、基金の大幅な積立は困難な状況になるものの、引き続き適正な残高管理を行っていく。
		地方債残高（一般会計）（単位：億円）	445.7	439.3	467.0 未満	439.3	達成	達成	線上償還の実施及び優良債を活用した結果、地方債残高は対前年比で433,713千円減少した。	○	地方債残高が減少し、年度達成目安を達成した。H30～31年度に計画されている投資事業がピークを迎えるため地方債残高は上昇していくが、H32年度以降は下降し、残高は減少していくものと見込む。
経費の削減	健全な財政運営	公共施設等総合管理計画の策定・推進	—	実施	実施	実施	達成		公共施設等総合管理計画の策定が完了した。	○	公共施設等総合管理計画を策定し、年度達成目安を達成した。今後、計画を推進するため、行動計画として個別計画が必要となる。ただし、個別計画の有無に関わらず遊休施設の解体等を検討していく。
		事務事業の整理・統合・廃止	実施	追加実施	追加実施	追加実施	達成		予算編成時に廃止等検討事業を選定、事業課調整し、一財ベースで89,528千円を削減した。	○	廃止・休止・縮小事業を選定し一定規模のスクラップアンドビルドを実行し、目標を達成した。引き続き、スクラップアンドビルドの更なる強化を図る。
自主財源の確保		市税等（6項目）の収納率（単位：%）	96.5	96.5	96.5	96.5	達成	達成	早期に滞納者との接触を図り生活状況の把握に努め、それぞれの実態に応じた滞納処分を行った。 一括納付が無理な場合、滞納者に完納計画の作成とその実行を求めた。また、納税意識のない滞納者には、善良な納税者との公平性を保つため、滞納者の財産を調査し、差押等の滞納処分を行った。 インターネット公売を3回実施し、その内容を市報・ホームページに掲載することで納税意識の高揚を図った。	○	目標を達成している。 引き続き、早期に滞納者との接触を図り生活状況の把握に努め、それぞれの実態に応じた滞納処分を行う。一括納付が無理な場合、滞納者に完納計画の作成とその実行を求める。また、納税意識のない滞納者には、善良な納税者との公平性を保つため、滞納者の財産を調査し、差押等の滞納処分を行う。 毎年、インターネット公売を1回以上行うとともに、その内容を市報・ホームページに掲載することで納税意識の高揚を図っていく。

行政改革項目名	評価区分			
③財政運営の適正化	◎	○	△	—
取組項目 計：3 / まちづくりの目標値数 計：6	0	5	1	0
構成割合	83%		17%	0%

行政改革項目 総計	評価区分			
	◎	○	△	—
取組項目 計：8 / まちづくりの目標値数 計：18	3	10	5	0
構成割合	72%		28%	0%